

第39回あいち学童保育研究集会 ニュース 第3号



輝け！学童保育

～マスクの下でも笑顔は忘れない！～



2023年3月5日(日)

～現地とオンラインの併用開催～

午前：全体会

午後：分科会



分科会紹介

全体会と3つの分科会より紹介メッセージをお届けします

全体会記念講演

講演者：土佐いく子さん



土佐いく子さん

【土佐いく子さん プロフィール】

1948年徳島県板野郡藍住町に生まれる。広島大学教育学部卒業。2008年3月まで大阪市内小学校に勤務。退職後、和歌山大学講師、大阪大学講師。

なにわ作文の会、日本作文の会、臨床教育学会などに所属。教職員の研修会、保育・学童保育関係の子育ての集いや学習会、地域の子育て講座などで講師活動を続けている。著書に『子どもたちに表現の喜びと生きる希望を』

(日本機関紙出版センター)、『子育てがおもしろくなる話』(同)、『子どものまなざし』(同)、

『マジョリン先生の学級づくりたねあかし』(フォーラムA)ほか。(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)『[マジョリン先生 おはなしきいて](#)』より

【推薦者から...】

私は数年前に、土佐いく子さんの分科会に参加したことがあります。とつてもやわらかいトーンの関西弁でお話される先生です。印象に残っているのは、小学校の教師時代に学級新聞を、毎日発行していたというエピソードです。

「1年生の子でもね。ちゃんと思っていることを作文に書けるのよ。」と、いくつかの作文を紹介してくださいました。その作文を聞いて、その場がホッと暖かくなったことを覚えています。全体会で、土佐さんの人の気持ちに寄り添った、心が暖かくなるようなお話が聞けることを楽しみにしています。



どの分科会に参加するか、分科会紹介もご参考に考えてくださいね～！

<http://gakudouhoiku.net/>

あいち学童保育研究集会





第1分科会 「入門講座「学童保育とは」

講師：中村強士さん



中村強士さん

本講座を2019年から担当している中村です。私は、2015年の子ども・子育て支援新制度がスタートしてから今まで毎年愛知県内の「放課後児童支援員認定資格研修」を担当しており、近年では、愛知県担当課あるいは他県の研修等も担当しています。みなさんにとって「学童保育」は当たり前の言葉でしょうけれども、実際に利用したり働いたりする場所の名前は「〇〇クラブ」だったりしませんか？

また、学童保育に関係する法律も「放課後児童健全育成事業」という名称で規定され、「学童保育」という言葉は法律に一切明記されていません。

さらに「民間学童」というものもあります。本講座は、研究者の立場から「学童保育」をめぐるこの「ややこしさ」を紐とくような講座にしたいと思います。



第3分科会

「異性の「性的観点からみる」指導員と子どもの関わり方」

助言者：松尾拓麻さん



松尾拓麻さん

学童保育は「第二のおうち」とも言われ、温かい雰囲気満ちている反面、子どもとの物理的な距離も近くなりがちです。

その分スキンシップの是非など、線引きや配慮すべきことも多くあります。学童保育所における配慮について、当事者目線や第三者目線などさまざまな観点から考えていきます。



第13分科会「発達について 学んでみませんか？」

講師：木村洋太さん



木村洋太さん

- ・京都大学大学院教育学研究科博士課程（単位取得後退学）
- ・京都府立大学、金城学院大学、桜花学園大学、他複数の医療系（看護師、言語聴覚士、作業療法士等）、看専門学校などの非常勤講師として、発達心理学、教育心理学、相談等、心理学の授業を担当しています。

保育者、教師、医療者養成のため、子どもの発達や子どもに関わる大人が知っておくべき大切な心の知識を伝える仕事をしています。また、父母などの保護者を対象に、子育て相談、子どもの発達理解、心の理解などの研修もおこなっています。

学童保育指導員の方々とは、2017年くらいから、関西、東海圏での研修や講座を通じて交流しており、自身も愛知県の学童保育クラブに通い、学ぶ機会をいただいております。

日本の学童ほいく 2019年10月号～3月号の発達講座も担当しましたので、お持ちの方は御覧ください。1児の父としても、教育者としても、これからももっと深く保育の世界に関わって勉強していきたいと思っています。